

股関節疾患を有する患者における中枢性感作の関与に関する検討

医学情報の研究利用について

中枢性感作は慢性疼痛の原因のひとつといわれ、近年、中枢性感作と整形外科疾患における治療反応性との関連が注目されております。股関節疾患においても例外ではなく、レントゲン画像だけでは説明がつかない股関節痛は多く存在し、中枢性感作の関与が疑われます。今回の調査は、股関節疾患と中枢性感作の関連を調査することで、今後の股関節疾患における治療成績の向上を目的とするものです。

対象：2018年11月1日～2022年3月31日の間に当院で股関節手術を受けられた患者さん

調査項目：患者さんが受けられた股関節手術の内容、手術年月日、手術前後の臨床所見、手術時の年齢、性別を手術記録、診療録、アンケート用紙などから、またレントゲン画像から計測したデータを収集いたします。また、術直後、術後3ヵ月、術後6ヵ月、術後1年時の臨床成績を調査致します。全ての情報は2018年11月1日から2023年3月31日までのものを使用します。上記調査項目はすべて通常診療内のデータのみであり、データをこの研究のために収集する必要はありません。またデータの管理に関しては個人情報保護法に準じて行い、データ上すべての患者さんは匿名化され、お名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ないのでご安心ください。このデータは厳重に管理され、また医学的な専門学会や専門雑誌などで報告されることがありますが、上記目的以外に使用されることはありません。また、今回の調査対象にあたる方で研究への診療情報の使用に同意されない方はお申し出ください。もし研究への診療情報の使用を拒否されても、今後の治療などで不利益を受けることはありません。研究への診療情報の使用を拒否される場合、**2023年12月31日**までにお申し出ください。この後に、不参加の意思表示がなされても、参加の取り消しが不可能な場合もあることをご了承ください。この件につきまして、ご質問などがございましたら、研究責任者にご遠慮なくお尋ねください。

研究責任者：北里大学病院整形外科 ふくしま 福島 けんすけ 健介

電話 042-778-8111（北里大学病院代表）